

議会だより

高丘ゴルフ場跡地はどうなるのか.....	2
町政を調査（委員会による所管事務調査）.....	4
あの質問はどうなった「追跡調査」.....	6
平成24年度にこんなこともします.....	8
道の駅の取組みに関する請願を採択.....	12
一般質問「ここが聞きたい」4氏が町政を問う.....	16
元気なスポーツ少年団（剣道）・地域の話（松浦武四郎口マン）.....	20



負けるな「ヨイショ」頑張れ「ワッショイ」 上厚真連合大運動会（宮の森・さくら保育園、上厚真小学校）

高丘ゴルフ場について

行政報告

平成24年第2回定例会にあたり、次の1点についてご報告申し上げます。

高丘ゴルフ場について、平成24年3月15日第1回定例会において、和解の決議をいただいた後、3月21日にミズノ株式会社と最終合意書を締結し、4月17日にはミズノ株式

会社が破産管財人と不動産売買契約を締結し、4月25日に土地代金の決済及び所有権移転が完了し、ミズノ株式会社が土地所有者となりました。

これにより、ミズノ株式会社は今の予定では、6月中に防災工事に着手し、11月上旬を目途に完成し、その後厚真町へ基金、土地を寄付することとなっております。

なお、防災工事の施工中の現地を確認し、将来の維持管理に支障とならないようミズノ株式会社と協議しながら進めてま

いります。
以上ご報告申し上げます。

以上が、平成24年6月7日開催の平成24年第2回定例会で行政報告された、高丘ゴルフ場についての全文です。

そもそも高丘ゴルフ場とは

高丘ゴルフ場については、平成7年にあつまりゾート株式会社が、シャトーヴェール株式会社から事業を継承し、平成10年に造成工事を再開した。そして、造成工事再開後、ここで工事施工者のミズノ株式会社との関係で、あつまりゾート株式会社がこの事業から撤退を表明した。

完成した9ホールについては営業もしており、適正に管理されている。残る18ホールについては、全面的に自然回復が進んでいるものの、粗造成を終えた段階で中断したこ

とから、コースなどの一部が傷んでいる状況に加えて、沢を埋め立てるために設置したコルゲート管やボックスカルバートの一部に変形やひび割れが見られることなどから、適正な維持管理をしなければ将来的には災害の発生が心配される。しかし、コンクリートダムなどの土砂流出防止施設9カ所や洪水調整池15カ所など、必要な防災施設はすべて造成に先立って完了しており、現在もその機能を果たしていること、また、全体的に大きな変化がないことから、道は防災施設を定期的に管理していくことで十分機能すると

して、今のところ災害発生の心配はないというのが現在でも道の考え方である。(平成20年第1回定例、下司義之議員の一般質問における町長答弁より抜粋。)

最終合意書の内容

関係)、第14条(協議解決)である。

前文 北海道厚真町(以下「厚真町」という。)と美津濃株式会社(以下「ミズノ」という。)

第3条の防災工事の内容については、左のページの通りとなっている。

第4条の本件土地の寄付は、防災工事終了後、

第4条の本文土地の寄付は、防災工事終了後、ミズノが町に土地を寄付するという内容である。

第6条は、寄付後の土地は町が自らの責任と費用で維持管理をする内容

である。

第7条は、維持管理を目的とする基金として、

第7条は、維持管理を目的とする基金として、ミズノが町に1億円寄付するという内容である。

第8条は、誓約書の失効である。この誓約書は、本件和解の根拠となった、平成8年8月8日に、町長と、事業者あつまりゾート開発株式会社、工事施工者美津濃株式会社東京本社によって交わされた「大型地域開発に関する工事誓約書」である。

第8条は、誓約書の失効である。この誓約書は、本件和解の根拠となった、平成8年8月8日に、町長と、事業者あつまりゾート開発株式会社、工事施工者美津濃株式会社東京本社によって交わされた「大型地域開発に関する工事誓約書」である。

第9条(保証)、第10条(最終合意書の失効)、第11条(秘密保持)、第12条(権利義務の譲渡等の禁止)、第13条(従前の契約との

第9条(保証)、第10条(最終合意書の失効)、第11条(秘密保持)、第12条(権利義務の譲渡等の禁止)、第13条(従前の契約との

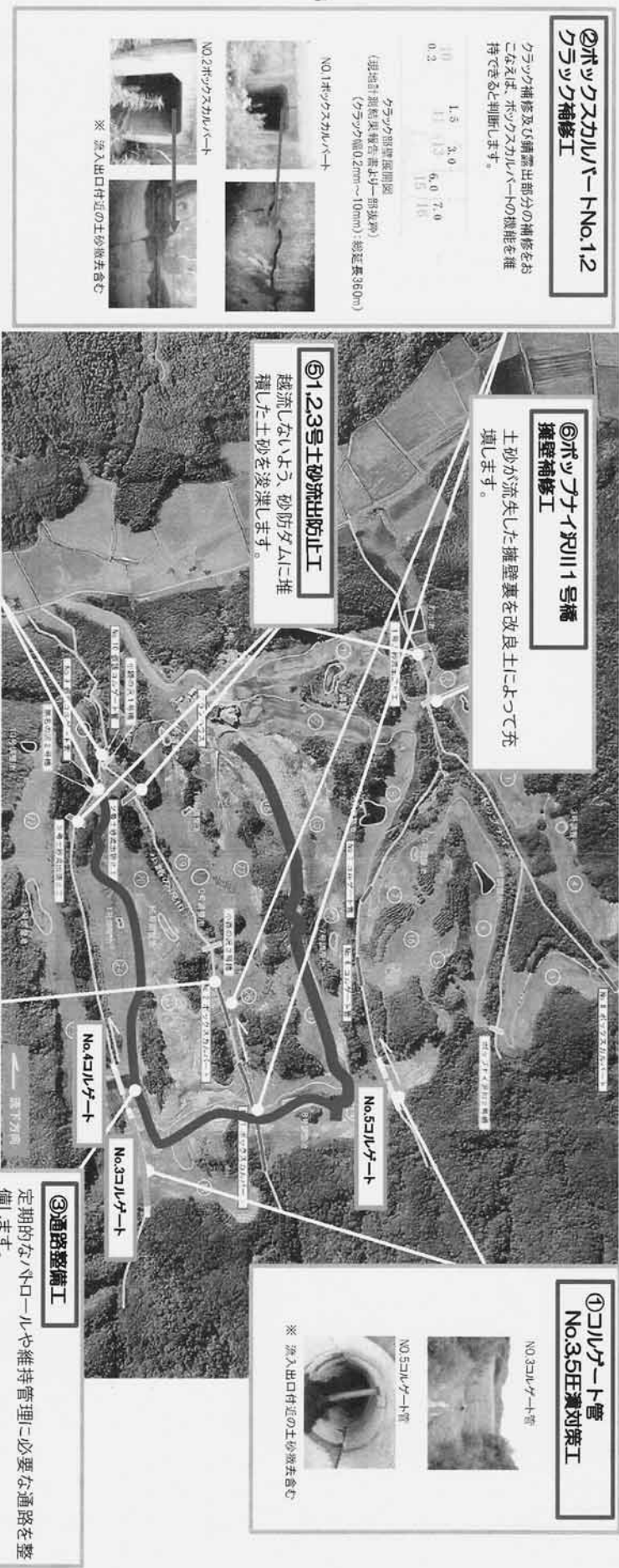
関係)、第14条(協議解決)である。

第9条(保証)、第10条(最終合意書の失効)、第11条(秘密保持)、第12条(権利義務の譲渡等の禁止)、第13条(従前の契約との

防災工事仕様 (図)

高丘ゴルフ場用地 総面積 2,186.899㎡
 (町新町パークゴルフ場 36ホール 約 67 個分)

- ① コルゲート管No.3.5圧潰対策工
- ② ホツクスカルバートNo.1,2クワック補修工
- ③ 通路整備工
- ④ 法面雨裂補修工
- ⑤ 1,2,3号土砂流出防止工堆積土砂排出
- ⑥ ポツナイ沢川1号橋擁壁補修工
- ⑦ No.9,10仮設コルゲート管撤去工



町政を調査

委員会による調査の報告がされました。

(平成24年第2回定例会の各委員会による所管事務調査報告)

青少年センター

図書室の状況

(総務文教常任委員会)
所管 教育委員会生涯学習課

問 本の種類をどのように決めているか。

生涯学習課参事

図書館の管理職や、社会教育グループの職員、またリクエストなど、いろんな情報を聞きながら決めている。

問 貸し出し、返却を簡素化することによって、貸出件数を増やすことはできないか。



生涯学習課参事

改装により機能的で明るくなった図書室。

現時点では、インターネットで(蔵書を)検索できるが、予約システムは無い。現段階では、厚南地区の方が(青少年センターで)借りたものを、厚南会館へ返却するぐらいの簡素化はできると思う。

循環福祉バス

運行状況

(総務文教常任委員会)
所管 まちづくり推進課

問 (地域公共交通)活性化専門部会とあるが、何名で構成されているか。

まちづくり推進課主幹

J A・商工会2人、民生児童委員、社会福祉協議会、教育関係者からPTA2人、地域住民として老人クラブ2人、公募の委員2人、学識経験者として北海道大学准教授。

以上13人で構成している。

問 予約が前日の午後3時から午後7時に延びたことによる反応は。

まちづくり推進課長

確認していない。

問 上厚真にバス待合所を作るということだが、どのようなものを作ろうと思っているか。

まちづくり推進課長

ある程度の機能があるバス停を設置したいと考えている。

NPO法人「ゆうあいネットあつまの高齢者グループホームの増築計画

(総務文教常任委員会)
所管 町民福祉課

町民福祉課長

現在待機者がいるという状況であり、グループホームが2ユニット(定員)18人では足りないかと判断している。

問 現状の本郷(9人)と京町(9人)の2ユニットで我慢した方が、将来の介護保険料に対する影響が無いのではないか。

それに対応するため保険料を4500円とした。

**統合簡易水道計画
新町浄水場の状況
上厚真浄水場の状況**
(産業建設常任委員会)
所管 建設課

この3件は関連するの
で、一括して質疑がされ
た。

問 (浄水場の)配水池の
現在と今後計画されてい
る容量は。

また、その容量で町内
の何日分を確保できるか。

建設課長 新しく計画し
ている富里配水池は69
0tである。

現在は、新町582t、
上厚真1038tである。
量的には、全体で18
・5時間分程度である。

問 災害時、厚真、上厚
真浄水場は非常用電源設
備があるということだが、
鯉沼ポンプ場はどうか。

建設課長 鯉沼も自家発
電(設備)は設置してあ

る。共和ポンプ場も宇隆
ポンプ場も自家発電機が
ある。桜丘ポンプ場は、
持つて行って付けられる
ようになっていて。
無いのが本郷ポンプ場
で、福祉会に上げる部分
が無い。

新町浄水場の操作パネル



問 (給水対象)想定人口
は、町で想定した人口4
100人か。

建設課長 計画給水人口
は国の人口問題研究所か
ら出されているもので、
町の定住関係とはリンク
しない。

上厚真浄水場の操作パネル



問 町内では、水田畑作
等によつてによつて相当
の農薬を使用している。
落水等によつて農薬等も
流入してくる可能性も随
分あるが、残留農薬等の
水質検査をどのように行
っているか。

建設課長 農薬について
は、JAから使用してい
る農薬の資料をいただき
それに基づいて含まれる
成分を毎年分析している
が、ほとんど数値には表
れてこない程度のもので
ある。

**町民のこえ
を募集**

厚真町議会では、議
会を傍聴した感想や
「あつま議会だより」
を読んでの感想、厚真
町議会への「ご意見を募
集しています。」

投書について

投書される方は、原
稿に自分のお名前と
お電話番号もお書き添
えください。

「あつま議会だより」
への掲載は、匿名を原
則とします。

投書されたご意見・
ご要望の処理結果は
「あつま議会だより」
にて、お知らせいたし
ます。

なお、名前等の記入
がない投書については、
取り扱わないこともあ
りますので、ご注意願
います。
※投書は、FAXでも
結構です。

FAX 0145-127-2328

どうなった

今回、「あの質問はどうなった」と題して、一般質問の提言などがその後どうなったか、お知らせします。

【平成23年9月定例会】

グリーンツーリズム推進

町内のほとんどの地域は、飲食、宿泊などを伴う事業に対して規制があり、グリーンツーリズムの推進には、規制への対策が必要では。

答 弁

まず、市町村計画を定める。

町としては、まず早急に市町村計画を定め、最終的には都市計画区域そのものも圧縮していくような方法も検討しなければならない、と考えている。

どうなった

グリーンツーリズム運営協議会を設立。平成24年度中に市町村計画を策定する。

【平成23年6月定例会】

グリーンツーリズム

都市と農村交流の方向性は

答 弁

既存にあるものを充実しアピールする。

中核施設としてのこぶしの湯の機能アップもさせるべきであると思う。時間はかかるがそういったコンテンツを充実させる努力をしたい。

どうなった

宿泊を伴うモニターツアー、町内観光農園ではハスカップ狩り、こぶしの湯でジャム、ゼリーなどハスカップ加工品の販売、町内飲食店でハスカップおにぎりを販売するハスカップフェアを実施した。

みんなの町政です 議会を傍聴してみませんか

町議会は、町の予算や身近な問題について話し合う、大切な会議の場です。

あなたも議会を傍聴してみませんか。

◎次の定例会は9月上旬の予定です。

◎日程など議会の傍聴に関するお問い合わせは、TEL 27 - 2485 議会事務局までお気軽にどうぞ。



あの質問は

【平成23年12月定例会】

「めぐるくん」 (デマンド交通)

予約を30分前までにできないか。

答 弁

変更を予定している。

平成24年1月下旬から、受付を前日15時までに19時に、2・3便は1時間前までとする。

どうなった

平成24年1月23日から前日受付を19時までに変更し、2・3便の当日予約を1時間前までに変更した。

【平成23年6月定例会】

宮の森保育園

宮の森保育園の保育時間適正化と、休園日の設定、京町保育園との標準化は。

答 弁

改正する。

8月から、保育時間延長と、休園日の適正化に取り組む。また、今後常設の保育園に昇格させ、京町保育園と同じような環境にしたい。

どうなった

平成23年8月1日から、保育時間、休園日、共に京町保育園と同じにした。
平成24年4月からは、認定こども園つみきの保育時間延長に伴い、宮の森保育園も保育時間を延長している。

【平成23年6月定例会】

研修農場構想

第6次農業振興計画における、研修農場構想の今後の方策は。

答 弁

平成23年度中にアウトラインづくりを進めたい

地域おこし協力隊、農業支援員2人の支援も受けた。この研修状況も踏まえて研修農場を具体化したい。

どうなった

今後、JA農場構想と連携の上進める。
現段階では、指導農業士を含めた研修受け入れ登録者を構成員とした、農業後継者育成協議会を設立し、新規就農希望者の研修を進める。
並行して、新規就農希望者の研修機能を付加した農業生産法人設立を推進する。

平成24年主要な施策

24年度も継続して行われます

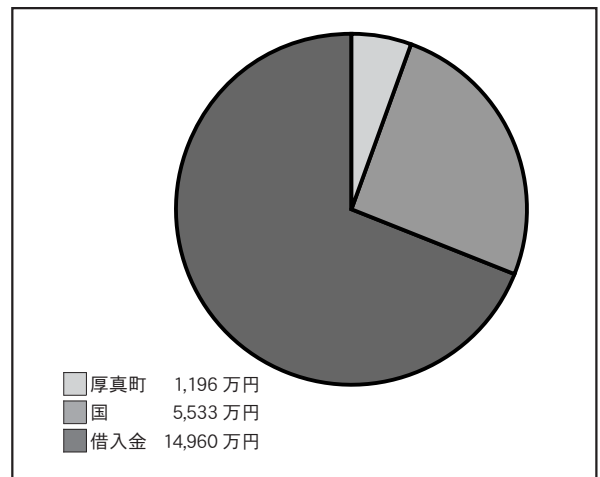
統合簡易水道整備事業 (2億1689万円)

厚真地区と上厚真地区簡易水道を統合し、水源を厚幌ダムに求めて水道未普及地域の解消を図り、将来の水需要の増加に対応するため水道施設を整備します。

問 今は、新町から上地区へ押し上げているような配水だが、今後は上地区から下地区へ水を送るようになるのか。

答 将来富里の浄水場から下地

平成24年度 水道事業位置図

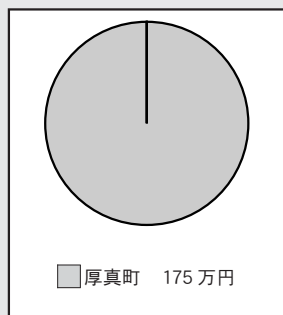


区に配水するようになるが、今回の配水管施工は富里から配水するようになったとき、手戻りにならないような施工とする。

※手戻り
前の状態に戻ってもう一度作業をやり直すこと。

農産物ブランド 化推進事業 (175万円)

ハスカップの新品種「あつまみらい」と「ゆうしげ」の2品種を、あつま産ハスカップとしてブランド化を進めるため、苗木購入経費の一部を支援します。



問 苗木1,000株は対応可能な本数か。また、将来的な目標は。

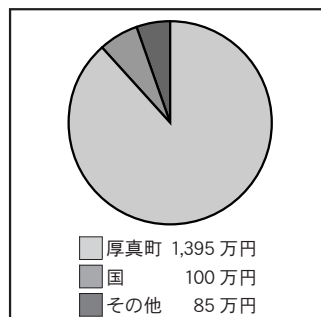
答 1,000株に決めているのは、民間育成者である。今現在、10年間支援が必要との考えで将来的に10,000株の支援を予定している。

定住促進対策事業 (1580万円)

厚真町への移住を促進するためPRなどを行います。

- 1、移住体験
- 2、分譲地販売促進
- 3、空き家再生・持ち家住宅建設促進
- 4、移住定住関連

問 プロジェクトチームを立ち上げ、目標値を

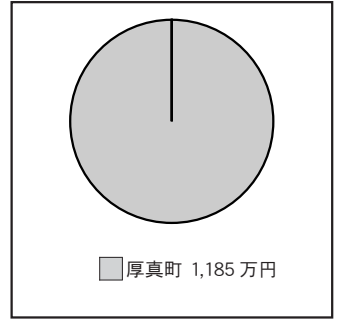


答 設定して取り組むべきではないか。
横の連携をとって全庁的な連絡会議や協議する場を設けたいと思っている。



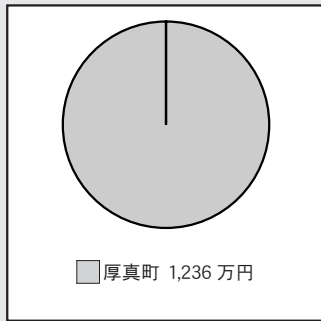
**地域おこし協力隊
農業支援員設置事
業（1185万円）**

人口減少や高齢化などが進む本町の活性化や農業振興を図るため、「厚真町地域おこし協力隊・農業支援員」として、都市地域から人材を誘致し、地域における活動を通して新規就農希望者の育成や定住地域力の維持、強化を促進します。



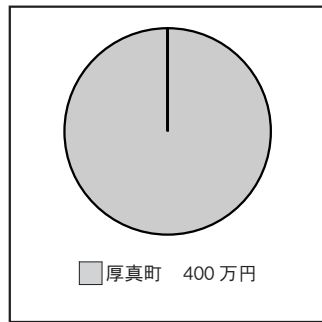
**農業後継者総合育
成対策事業
（1236万円）**

新規就農希望者向けイベントに参加し、農業後継者の確保対策を行うと共に、町の農業後継者育成対策基金を活用した、農業後継者及び新規参入者の就農時及び定着後の経営改善を支援します。



**小規模土地改良事
業（400万円）**

農家を実施する客土や暗渠排水整備に対して助成支援します。

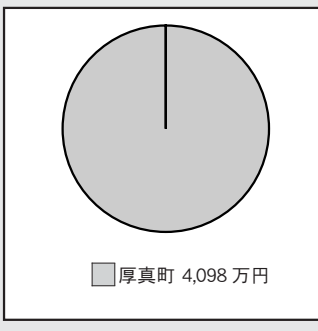


24年度も継続して行われます

育英資金貸付

・奨学金給付事業
(4098万円)

国内の大学、高等専門学校及び専修学校の専門課程等、その他これらに相当する外国の学校に在学する者で、学ぶ意欲と能力のあるものの経済的負担を解消するため、学資金の一部を貸し付けます。



問 中村奨学金、近藤奨学金の各3人の枠を応募が越えたときの選定基準は。
答 応募によるものではなく、町の奨学金の貸付している人の中から所得の低い人6人を対象としている。

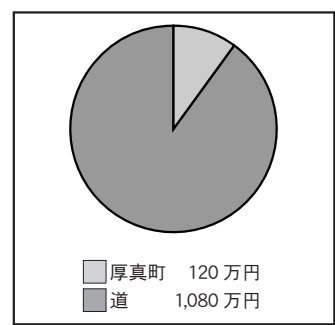
京町公園整備事業

(1200万円)

京町公園は建設から37年が経過し、遊具の老朽化も進んでいることから、京町保育園の増築に合わせて新しい遊具を設置します。

問 コンビネーション遊具とはどのような遊具か。

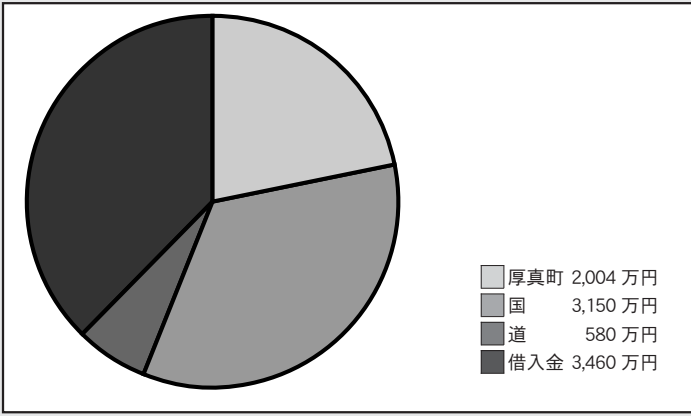
答 滑り台やクライムと組み合わせで登ったりするものが、複数ついている遊具である。



フォーラムビレッツ

・住宅地整備事業
(9194万円)

平成22年度から豊沢地区で造成中のフォーラムビレッツを引き続き造成します。



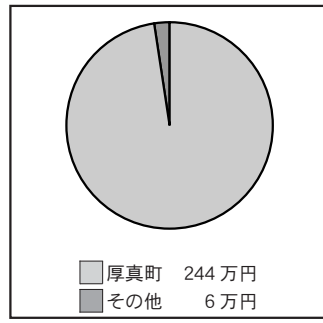
問 定住化に向けた対策はどのように取っていくのか。

答 移住して定住しても、移住して定住しても、安全な場所ということもPRしていく。



大沼野営場維持管理 及び周辺整備 (250万円)

大沼野営場周辺環境整備及び、本年度はトイレの改修を行います。

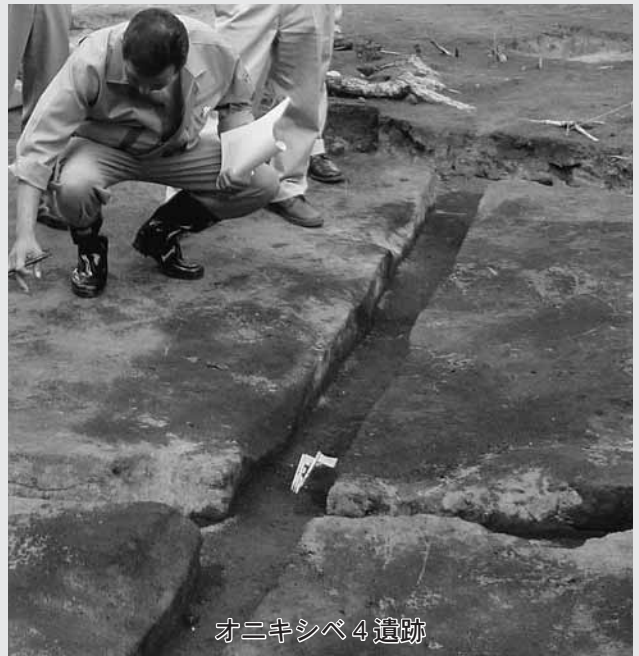


大沼野営場管理棟

問 集客する仕組みづくりは考えているのか。
答 アンケート結果で、「トイレの改善」という声が半数を超え、トイレの改修を予算化した。また、ロケーションの評価が高かったことから、顧客の獲得は十分できると考えている。

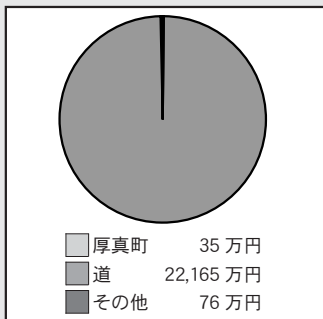
埋蔵文化財発掘事業 (2億2276万円)

厚幌ダム建設事業に伴うフチャラセナイ遺跡(継続)、オニキシベ4遺跡(新規)、厚幌1遺跡(新規)、オニキシベ6遺跡(新規)、シヨロマ1遺跡(新規・調査準備)発掘及び、オニキシベ5遺跡(継続)発掘調査報告書を刊行します。



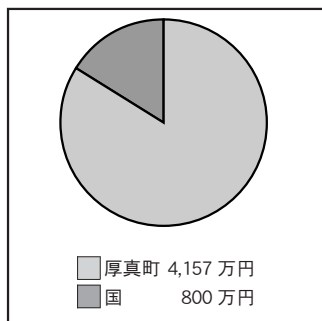
オニキシベ4遺跡

問 出土品の活用について、グリーンツーリズムを生かして、早めに取り組んだほうがいいのでは。
答 発掘事業のポリユームが増えてきているので、体制形成を優先させたい。



交流促進センター 運営及び整備事業 (4957万円)

厚真町交流促進センター「こぶしの湯あつま」の指定管理料及び施設の老朽化に伴う改修工事を行います。



問 指定管理者のみに任せるのではなく運営委員会等で検討することはできないか。
答 指定管理は民間のノウハウを生かして効率よく運営することが狙いであるが、周辺設備については町内関係機関の意見を聞きながら進めていくことは可能と考えている。

広域行政の負担金	
胆振東部消防組合本部・支署負担金 (消防及び救急)	3億316万円
安平・厚真業行政事務組合負担金 (家庭ごみの処理)	1億84万円
胆振東部・日高西部衛生組合負担金 (し尿汲み取り)	1412万円



24年度も継続して行われます

厚真町議会議長 渡部孝樹 様

こぶしの湯及びその周辺を道の駅として登録する取り組みに関する請願書

請願者 市原 泰雄

紹介議員 下司義之 了安正秋

こぶしの湯及びその周辺を道の駅として登録する取り組みに関する請願

1. 請願の趣旨

本町の経済が低迷する中、町内に道の駅を設置することは交流人口の受け皿をつくるという意味で非常に有効であります。

道の駅のコンセプトは、地域の創意工夫により道路利用者に快適な休憩と多様で質の高いサービスを提供することです。

道内においては、長距離ドライブが増え、女性や高齢者のドライバーが増加するなかで、道路の円滑な流れを支えるため、一般道路にも安心して自由に立ち寄り、利用できる場としてその役割がますます重要になりつつあります。さらに、最近では地域の文化、歴史、名所、特産品などの情報発信基地としての機能も求められています。また、当町においては、フェリー利用者の立ち寄り所としての活用も期待されます。

道内で利用者の多い道の駅は、喜茂別町「望洋中山」、長沼町「マオイの丘」、深川市「ライスランドふかがわ」などで、いずれも年間100万人以上が利用しています。交通量の多い国道に面したこれらの施設と「こぶしの湯」は環境が違おうとしても、本来道の駅は町と町とが手を結ぶ連携施設であり、道の駅の認知度が高くなることは、交通量の少ない道路に面した道の駅にも良い影響があることは間違いありません。

現在、道の駅は道内に113ヶ所ありますが、その内16ヶ所が道道沿いにあるため、こぶしの湯エリアの登録も十分に可能性があると思います。

町が進めるグリーンツーリズムの拠点施設である「こぶしの湯」及びその周辺は、町内でこの役割を担うのに最適の場所であり、道の駅として登録することは、本町の地域情報発信や特産品PR及び販売にも非常に有効であります。

2. 請願項目

こぶしの湯及びその周辺を道の駅として登録する取り組みを行っていただくことをお願いいたします。



道の駅「しんしのつ」

こぶしの湯周辺を道の駅として登録する取り組みに関する請願に対する議会の対応は次の通りです。
平成24年3月14日請願書受理
3月15日 平成24年第一回定例会で、産業建設常任委員会に付託すること
4月19日 産業建設常任委員会（付託事件審査1回目）
4月26日 産業建設常任委員会（付託事件審査2回目）
内容 紹介議員からの説明、及び、紹介議員への質疑
委員会協議等

5月10日 産業建設常任委員会研修視察
視察先 新篠津村、道の駅「しんしのつ」
5月14日 「道の駅」勉強会
テーマ「北海道におけるドライブ観光と道の駅について」
講師 厚真町における可能性を考える
独立行政法人 寒地土木研究所 景観ユニット
松田泰明総括主任研究員
高田尚人 研究員
参加者 町議会議員、町職員。
（いずれも希望者のみ）
5月14日 産業建設常任委員会（付託事件審査3回目）
内容 委員会協議
5月21日 産業建設常任委員会（付託事件審査4回目）
内容 委員会協議、結論報告書作成。

5月22日 議長へ審査結果として「付帯意見を付して、採択すべきもの」と報告。
付帯意見 取り組みに当

たつては、外部参画の協議会等を設置し、実現可能な方向性を見出すこと。
6月7日 平成24年第二回定例会で、産業建設常任委員長から、本請願は採択すべきものと決定したと報告があり、質疑のち討論を行った。
討論（要点）
賛成 三國和江議員
町は、市街地の空洞化も考慮しながら、外部参画の協議会を設置し、実現可能な方向性を見出すべきである。
反対 今村昭一議員
費用対効果も定かでない中、趣旨採択として扱おうのが限度である。
反対 海沼裕作議員
まだ機は熟していない、趣旨採択の段階だと思ふ。
結果 賛成7、反対3
6月13日 町長へ請願を送付。
（地方自治法125条）
6月13日 請願者へ請願の審査結果を通知。

6月議会で決まったこと

平成24年6月定例会を、6月7日に開催しました。町長から、行政報告1件、議案9件、報告4件の合計14件。議会から、報告2件、請願1件。一般質問には、4人の議員から9項目の質問があり、町政の課題について幅広く議論がされました。審議内容の主なものは次の通りです。

高丘ゴルフ場について
(行政報告)
町長から高丘ゴルフ場の状況について、3月21日に最終合意書を締結したこと、現在の状況、今後の方針について報告がありました。(詳細2ページ)

辺地に係る公共施設総合整備計画の策定
町道高丘本線の整備計画策定を決定しました。

新町豊沢線整備に伴う町道の認定及び廃止
町道新町豊沢線は林業専用道として整備を予定していましたが、新町側5.2メートルと豊沢側28.0メートルは、林業専用道として整備することができないため、いったん全て町道路線の廃止をし、あらためて、新町側と豊沢側を町道として認定することを決定しました。

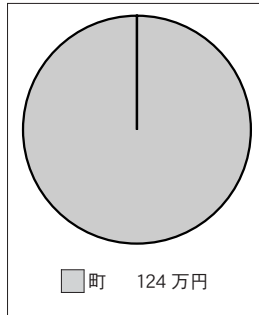
た。

補正予算(主なもの)

議員の道外研修

(124万円)

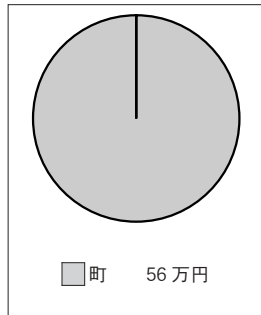
町議会議員が9月に長野県、富山県、石川県で研修視察することを決定しました。研修テーマは、議会活性化、小水力発電図書館、特産品、議会広報です。



公共牧場整備事業

(56万円)

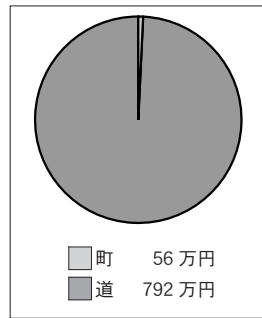
幌里町営牧場へのアクセス道路を整備するための測量などを行うことを決定しました。



埋蔵文化財発掘事業

(799万円)

厚幌ダム建設に伴う埋蔵文化財調査費の増額を決定しました。



土地開発公社の業務等の報告

平成23年度に土地開発公社が行った業務は次の通りです。

- ・上厚真道路用地の取得3件
- ・分譲地の販売
- ・豊沢分譲地 2区画(ルーラルビレッジ)
- ・表町分譲地 3区画(パークタウン)

以上。
※上厚真みのり野、豊沢フォーラムビレッジは、町が直接分譲しています。

所管事務調査の申出
総務文教常任委員会

- ・旧軽舞小学校跡地利用
- ・市町村暴力団排除条例の制定
- ・職員の人事考課制度

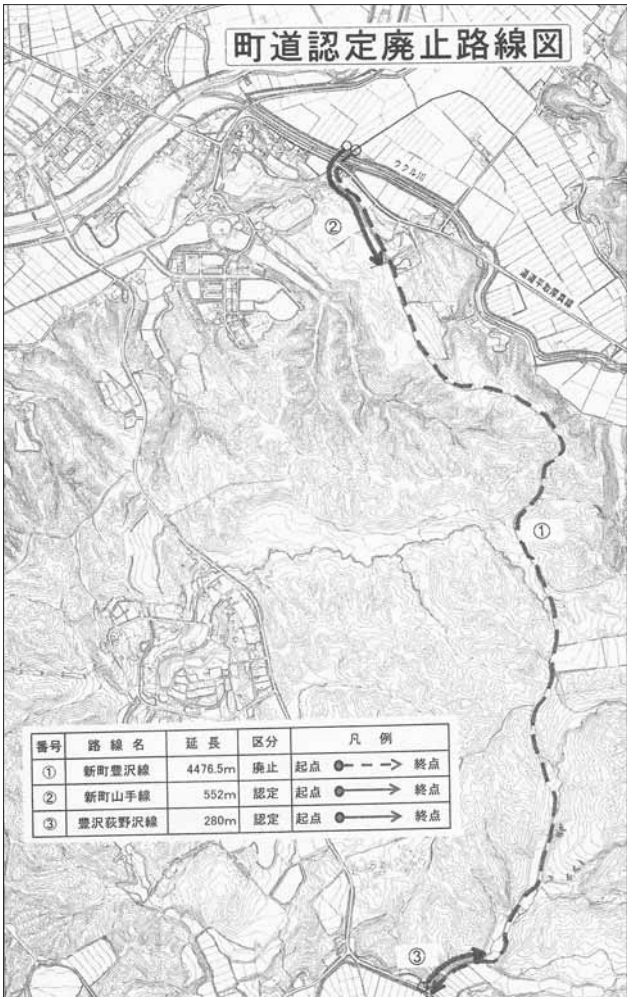
産業建設常任委員会

- ・農業体験観光の現状
- ・浜厚真野原公園管理棟の状況
- ・幌内メナノ沢冷泉流出状況
- ・農業後継者総合育成対策事業の状況

第1回臨時会で決まったこと

平成24年第1回臨時会を、4月26日に開催しました。

町長から、条例変更2件、一般会計補正予算1件の合計3件が提案され、原案通り決定しました。その他、請願に伴う調査の為、産業建設委員会委員を道内の視察に派遣することを決定しました。



議会改革の展望と課題、世界の中の日本 アジアの中の日本について研修した

平成24年7月3日
札幌コンベンションセンター
北海道町村議会議員研修会
厚真町議会議員 木戸嘉則

第1部は、「議会改革の展望と課題」と題して、明治大学政治経済学部教授牛山久仁彦氏の講演を聞いた。

牛山氏は、1961年長野県生まれ。専門が行政学・地方自治論・自治体経営論・地域政治論、著書に「地域力を高めるこれからの協働・ファシリテーター育成テキスト」(第一法規)(共著)、「ドキュメント・市民がつくったまちの憲法・大和市自治基本条例ができるまで」(ぎょうせい)(監修)など多数。

講演では、現在直面する日本の課題は、東日本大震災など頻発する自然災害と、少子高齢化の進行と町村の疲弊である。

自治体行政の重要な役割は、住民の安全、安心快適であり、住民の生活を自治体が支えているということに自覚し、地域力で町長、議会、住民が協力し合い団結力が必要だと思ふ。

自治体議会は、住民からは厳しい目線で見られている。議会が議会としての役割を果たしている

かチエックし、住民に身近な議会として、住民と共に歩み、議論をする議会を目ざすことが大切だと思ふ。というものであった。



第2部は、「世界の中の日本・アジアのなかの日本」～日本の外交戦略を探ると題して、北海道生まれの外交ジャーナリストで作家、慶応義塾大学教授手嶋龍一氏の講演であった。

手嶋氏は、1949年に北海道で生まれて、慶応義塾大学卒業後、NHK記者となり、政治部で首相官邸、外務省、自民党を担当。1987年から91年までワシントン特派員。その後、ハーバード大学国際問題研究所へ招聘されシニア・フェロー(主席・上級研究員)を務めた方である。2005年にNHKから独立、現在は、外交ジャーナリスト・作家として活躍している。著書に、「ブラックス・スワン降臨」9・11・3・11 インテリジェンス10年戦争(新潮社)、「武器なき環境戦争」(角川SSC新書)など多数。

講演では、世界では北極海航路がいま世界で注目されており、既にノルウェー、アメリカ、ロシアは調査を始めた。メリットは、航路距離が短縮し燃料消費の節約、資源の開発、海賊の危険が少ないことであるが、日本はいまだに何もしていない。

これからは東アジアの開発が進むことは、間違いない。

日本と中国の関係は、尖閣問題で、東京都知事の買い上げ発言で関係が悪くなり、中国は軍事的行動に出るとも言っている。

日本とロシアの外交も悪く、プーチン大統領は北方領土は返還しないと思う。野田総理は外務省のいいなりになっている。

北方、尖閣の問題を日本がどのように取り組んでいくのか、真剣に考えて行動をとらないと大変なことになる。日本は全てにおいて遅れを取っている。国益を守ることが必要だと思ふ。という内容であった。

行政効果を確認

7月10日（火）午前9時30分 庁舎出発
午後4時00分 帰庁

幌内オニキシベ4遺跡では、近現代の炭窯跡、800年前の住居跡などが確認できた。



朝日で稲の生育状況について説明を受ける。
説明 農業改良普及員 村さん
生育は順調



厚南デイサービスセンター周辺の道路改良舗装工事を確認。



新町スケートリンク場トイレは水洗化して綺麗になった。今後は建物の老朽化対策が必要か。



幼穂の確認



共和で畑作生育状況について説明を受ける。
説明 農業改良普及員 秋元さん
平年並みに推移しているが、水不足が心配される。



昨年末完成した上厚真かえて団地7号棟を確認。



軽舞旧油田抗井作業道が新設された。バスが入れないので歩いて抗井跡へ向かう。



浜厚真環境衛生公園に設置されたトイレは広くて綺麗。



ダム底からガスが噴出している場所もある。



旧油田抗井跡から染み出る原油を処理するために設置された油水分離装置。



高齢者の医療費負担分に助成できないか

一般質問

ここが聞きたい？

答 介護基盤整備を優先する



井上次男 議員

問 高齢者医療費一部負担の軽減策として、69歳以上の高齢者が負担する医療費の1割部分を、高齢者医療費還元制度を創設して、子育て支援と同じように金券で還元できないか。

つて、本町だけ単独で1割助成するというのは非常に難しい話だと考えている。

町長 本町の国民健康保険加入者（69歳）、70歳から75歳までの前期高齢者と75歳以上の後期高齢者の全員を対象として、平成23年度で計算すると、一割部分で1億円を超える負担となる。

医療費の負担軽減よりは、住み慣れたところで今後とも安心して暮らせるために、介護基盤等の整備に（お金を）使うべきだと考えている。

答 できない

問 昨年3月11日に発生した東日本大震災における、がれき処理問題が日本中を駆け巡っている状況にある。1年3ヶ月が過ぎたのに遅々として進んでいない。
苦小牧市では、再利用も考えながら（がれき受

入れを）前向きに取り組んでいるようである。最終的には焼却処分とすることで処理されるでしょうが、市民も町民も一番心配していることは、放射性物質のセシウムの含有率であるが、東京都は5月3日、岩手県宮古市から第1便30トン受入処理したが、がれきの中から放射線量は検出されていない。処理場周辺からも検出されていない。

岩手・宮城・福島3県のがれきの量は、二千二百万トンに達して、処理期間は100年とも推定されている。

町民も「明日は我が身」だから厚真町においても協力できることはやるべきの音が聞かれている。

厚真町も苦小牧市の実証実験により安全が確認されれば受け入れても良いのではと思うが。

町長 東北地方の震災地における復興を妨げ

ている一つに、こういった震災廃棄物の処理がなかなか進まないという報道に心を痛めているところであり、東北地方のお手伝いをしたいという気持ちは皆さん一致しているものだと思う。

しかし、もう一方で、安全・安心を標榜する生産者の皆さんとしては、風評被害を恐れるのもやむを得ないことだと思っており、理屈で風評被害を食いとめるということ

はできないと思う。あくまでも心情的な部分によることが多いが、これが絶対起きないということ

は断言できない。道が広域処理をする対象を岩手県に絞ることに

なるが、岩手県の中今の話題になっていくと宮古市周辺の産業廃棄物は、科学的知見からいくと安全だと断言できるものだと思う。

しかし、日本は狭い国土であり、福島、宮城、岩手の産業廃棄物が明確に区分できないという

も事実だと思うので、いかに安全なものでも受け入れられないという方もたくさんいるということも事実である。

そういう意味を踏まえ、本町のようにリサイクルや可燃物を焼却する施設を持っていない町としては、あえて広域処理に手を挙げるということにはならないと考えている。

苦小牧市も来るべき有料化に向けて可燃物の処理が増大することが懸念されることから、可燃物については受け入れられないという判断をされており、リサイクル可能なものに限って、木質系の産業廃棄物を受け入れた

いという表明である。そういうことから本町が胆振東部3町と歩調を合わせるにしても、産業廃棄物の一仮置き場にすると、本町で埋め立て

処理をするということにはならないと考えている。

一般質問

ここが
聞きたい？

自殺対策は

答 相談体制を充実する



木戸嘉則 議員

自殺対策

問 昨年の自殺者数は全国で3万584人。金融危機の1998年以来14年連続で3万人を超えている。

自殺の実態で憂慮すべきは、若年層に集中していることで、20歳から24歳が死因の49・8%、25歳から29歳は47・4%となっており、交通事故に代表される不慮の事故を大きく上回っている。経済的な理由であれば適切な支援制度を活用することで妨げられると思うが、理由は複雑に絡み合うことにより引き起こされており、周囲のサポートが必要だと思う。政府は自殺予防の一環

として、悩む人の声に耳を傾け、必要な支援につなげるゲートキーパーの育成を進めている。今年も政府の自殺対策の指針となる自殺総合対策大綱の見直しも控えている。

(町としても)悩む人を積極的に支えるための体制を強化すべきと思うが、

町長 自殺者が大変多いというのはいまことに憂慮すべきものだと思う。本町も少なからず毎年このように自殺者が出るという状況にある。

国も道もゲートキーパーの養成というような体制整備にむかっています。町としても、苦小牧保健所と連携して相談の窓口を充実させていく必要

孤立死対策は

答 地域の努力と関係者の連携で

があるのかなと考えている。現状では、健康推進グループで、保健師と社会福祉士が連携をとって相談

孤立死対策

問 高齢化や核家族化の進行により、単身高齢者や高齢者夫婦のみの世帯が増えている。

(社会から)孤立化した生活が特別な生活形態ではなく、もはや標準的な生活形態となっている。このことから、孤立死

が多くなっており、人の尊厳を悲惨な孤立死を防ぐためには、徹底して地域のコミュニティを掘り起し、活性化することが必要だと思う。

このことは、高齢者虐待対策や認知症対策、災害予防対策にも通じるところであり、地域の特性に応じてやっていかなければ

の窓口になっている。今後とも、電話相談も含めた相談体制を充実させたいと考えている。

ればならないと思うが。

町長 孤立死の定義が非常に微妙なのかなと思う。亡くなる時はだれしもほとんど一人で亡くなる。その隣に見守っておられる方が必ずしも居ないというのはい多いのだと思う。孤立死というのは社会から普段孤立している、コミュニティの中に入っ

て来られない、社会的なつながりが一切ない方が無くなった後、長い間死亡が確認できなかったという状況だと思う。(対策としては)できる限り地域の方々が普段から声掛けしていただく、地域の活動に積極的に高齢者の方に案内する、そういういたた努力を地域でする、

わっている関係者が協力し合って横の連携をとってダッグを組んでいるという状況にしていくことが必要だと思う。



厚真町役場 町民福祉課

農業法人化・集落営農化の進捗状況は

一般質問

ここが
聞きたい？

答 まだまだである



吉岡茂樹 議員

問 本町では、高齢化や後継者不足などから、今後新規就農者よりも離農者数が上回ると予想されており、地域、担い手を支える経営システムの形成が急がれている。

振興計画によると、高齢化や基幹的農業従事者の減少に対応するため、全町的な経営支援システムの整備強化を進め、全町のシステムと連携する個別の家族経営や、法人経営の体質を強化する地域段階の支援システムの充実や経営の多角化を図るとあるが、農業関係機関が主体となって取り組む方針の中の、行政と農業委員会が主体的に取り組む「地域内農地の集積による大規模経営の法人

化・集落営農化の推進」の進捗状況は。

町長 農家や農業従事者が減少していく中、将来を見据えて農業の持続性を堅持していくためには外部雇用を確保し得る農業生産法人の設立が重要である。

法人化、集落営農化の推進は、当面、現在町内で活動している任意の共同組織にまとを絞り、法人化研修会や相談会を開催していく方針である。また、協業型農業生産法人や集落営農化を進めるにあたり、地域農業者の合意形成が重要であり、地道な話し合いの積み重ねと、参画する農業者の熱意により成立するものであり、町内関係機関等

が協力して推進していく。これらの取組に対し、協業型農業生産法人として合意形成が出来た組織には、集中的、重点的に支援する方針で、国・道の支援策を活用し、町単独事業としては、「町担い手育成夢基金」を運用していく考えである。

問 消費者の、食に対する安全、安心や環境問題に対する関心は年々高まっている。

特に生産される農産物に対する農薬等の問題は、使用作物の登録状況・希釈倍率・使用時期・使用回数・総使用回数など、農業者にとっても厳格に使用しているが、北のグリーン農産物表示制度、エコファーマーなどの取組強化の進捗状況は。

町長 現在、エコファーマーの認証を8名が受けているが、町内に周知されていないのが現状である。しかし、地球規模での環境問題、食の安全性が高まる中、農薬や化学

肥料を現状より5割以上減らす取組は、北海道の気候状況を考えると果たして効果があるものかと、非常に難しいところがある。道はエコファーマーの商標権の譲渡を希望していないので、道内でエコファーマーとしてのマークを使用できなくなっている。

今後は、エコファーマーと似ている制度で、JAとまこまい広域が取り組んでいるイエスクリーン認証制度の推進と連携を強めたいと考えている。

問 農家子弟や農外からの新規参入者等に対する総合的な研修教育体制の整備の観点から、「研修農場（仮称）構想」があるが、実現に向けた関係機関による協議組織の立ち上げの進捗状況は。

町長 研修農場（仮称）構想は、平成22年度に先進地の事例調査を含めた基礎調査を実施し、昨年度は基礎調査の情報を基

に、いくつかのシミュレーションを作成し課題の検討を行ってきた。現段階では新規就農希望者などの教育研修機能を付加した農業生産法人の設立等が費用対効果を含め最も実効性のある研修農場になり得ると判断している。しかし、現状このような農業生産法人は町内に無く、経営の法人化、集落営農化と研修農場構想の実現を連動させて推進する。

現在、新規就農希望者の研修受入登録農家を中心とした「農業後継者育成協議会（仮称）」の設立準備を行っている。

協議会構成員、関係機関による統一した農業研修カリキュラム作成等により、本町で独立就農を希望する新規就農者に対する教育研修機能を充実させたいと考えている。

一般質問

ここが
聞きたい？

災害廃棄物受け入れに対する対応は

答 事後に考える



下司義之 議員

東日本大震災により生じた災害廃棄物を、苦小牧市が受け入れる方針を示したことに對する対応

問 苦小牧市が東胆振4町に説明した時に配布した資料に記載されているがれきの発生量、処理量は、環境省が見直しを行っている。苦小牧市は、膨大な量があるので広域処理が必要だという結論づけになっているが、町長の認識は。

町長 最新の情報によると、宮城県、岩手県では26年3月の目標が多少伸びる程度でできるのではないかとということであり、本当の必要性については、どこまで危機迫るものであるか私も疑問に感じている。

意見 発生してから対応を考えるといいのでは、いま国がまさに批判的にされていることと同じで、リスク管理という観点からも、手続きをどういうふうに進めるかということを決めておくのが、行政としての宿命だと思う。

公契約条例の必要性

問 公共が契約するのが公契約であるが、最近は何処の自治体でも財政難により発注コストを下げるといのが至上命題となっていて、最終的に行き着くところは労働環境の悪化ということになってしまふ。

そこで、公契約条例の必要性についてお伺いする。

町長 今日、公契約の受注競争、これが本当に激化していて、これがコスト引き下げ競争を引き起こしている。したがって、受注者を労働コスト削減に向かわせているということが事実だと思う。

必要であれば公契約条例を研究していかなければならないが、本町では請負契約の率が90%を超えているので、あまり官制ワーキングプアを発生させていないのではないかと思っている。

そういう意味では、差

し迫った問題ではないと考えている。

公営住宅入退去時の室内確認

問 公営住宅等退去時の室内確認をどのように行っているか。

町長 公営住宅については、使用していた方が原状に復する、当然きれいに清掃するというのが前提である。本人ができない場合は、町が代理して清掃し、敷金で相殺する。

教育長

教員住宅については、基本的に入居者がきれいに清掃していたので、教育委員会で清掃を行ったことはない。

町長 移住定住用の町有住宅も扱いは同じである。

問 本場にそういうふうになっているか。

町長 私が現場に立ち会ってはいないが、当然そういう手続きをして、そんなに清掃していないが故の汚さが発生しているとは思えない。

仮に汚いという事実が

あるのであれば、それはきちつと改めなければならぬ。

施設建設・改修等における計画立案方法

問 施設の施設、改修などにおける計画立案に当たって、必要があればグループ内、庁内の議論は基より、利用者の意見なども十分に参考にすべきと思うが。

福祉センター照明卓の老朽化に伴う取り替えに

町長

建設担当課、内部業者とは当然打合せをしているが、利用者の方々には打ち合わせに参加していただいていない。

問 スポーツセンター・スタードームの駐車場拡幅は。

教育長 原状回復という範囲で、特に協議の場は設けていない。

今後どのように意見を反映できるかも含めて検討する。

厚真剣道 (剣道少年団)



指導者

三上順一さん

「礼に始まり、礼に終わる」
 武道は、礼儀正しさと姿勢の良さがとても素晴らしいと常々思っています。
 団員が剣道を通して学び取ったものは、必ずどこかで役に立つ精神だと思えます。
 昭和43年に結成された厚真剣道は、現在は団員3人。ちょっと少なめですが、仲間同士で切磋琢磨しながらそれぞれの技を磨いて上の段を目指して頑張っています。
 稽古は、毎週火曜日、午後5時30分から7時30分。稽古風景の見学、体験大歓迎します。

地域の話題⑤

あつま食品開店



こよなく松浦武四郎を愛し厚真へ永住、未来に夢を持つ

三重県生まれ、「ポーイズビーアンビシャス」大志を抱き、新たな人生を切り開くために空港が近い・雪が少なく・海が近い等の条件が意に叶い、郎の石碑に出会い、

道の名づけ親と彼の功績に感銘を受け、さらに先人への感謝と先祖を大切に思う心を語り継いでいくために「武四郎もち」を考案。三重県松坂市で武四郎の名称使用許可をもらった。

厚真町の石碑は道内五十四ヶ所ある内の一つであり、この町で私にとつて「武四郎もち」を一つのきっかけとして、残りの人生をかけて自らを再考の日々の中から、日本人として食生活を追求し、自立心を持つて全国へ発信して行く所存でおります。皆様の応援を心からお願いいたします。



議員自ら 缶バッジでPR

厚真町議会ではこの度、まちのPRも兼ねた缶バッジを作成。町内外での公務時に身に着け、まちを広報する。

今年三月の予算委員会において町長が、「今年は厚真町全体をもっとPRしたい」とのことから、議員として町長への質問ばかりでなく、議員自らも率先したPRを、ということで企画が進んでいた。デザインは町の特産などをイメージし、羊（ジンギスカン）が稲穂の波をサーフィンし、そのボードにはハスカップが描かれている。

缶バッジは非売品ですが、ストラップは「こぶしの湯あつま」で購入できます。